

# 山場へ力を結集させよう

診療報酬大幅引き上げの実現に向け、山場となる10・30歯科決起集会が今月末に迫った。この集会が、緊急財政措置と診療報酬大幅引き上げを求める最大の結節点となる。小澤理事長が署名への協力を改めて訴え、合わせて集会参加を呼びかける。



## 署名は改定率が決まるまで

2026年度診療報酬改定に向け、中医協の議論が進むが、中医協で議論に使われている資料は医療経営の実態を正確に伝えているだろうか。8月27日の中医協総会では、MCD B（医療法人経営情報データベース）が紹介されていた。MCD Bは法人医療機関だけの経営情報を集積したものである。

## 10・30集会を節目に

結節点は10月30日「歯科の未来を総枠拡大で切り拓く10・30歯科決起集会」だ。協会から50人の目標を掲げており、会員への参加を呼びかけた。参加希望の会員には「地域の医療機関を守るため、緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める」歯科医師要請署名、「保険で良い歯科医療の実現を求める」請願署名を携え、申し込みをお願いしたい。何より説得力があるのは現場の歯科医師からの声だ。一人でも多くの思いを国会へ届けたい。ご協力をお願いする。

## 理事長 小澤 力

## 国民・患者の負担にも懸念の声

歯科医師署名には国民・患者の経済的な状況に懸念を示す思いも寄せられている。医療提供者も患者も安心できる歯科医療を世論に喚起し、国会で無視できない動きをつくることが今こそ求められている。

## 歯科の未来を総枠拡大で切り拓く10・30歯科決起集会

— 歯科医師署名と保険で良い歯科署名 提出行動 —

○日時 2025年10月30日(木) 午前11時～午後4時  
○場所 東京・千代田区「星稜会館」(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

○参加規模・対象 50人  
会員歯科医師、会員家族、会員院所スタッフ  
※家族・スタッフのみの参加はできません

○集会要求・スローガン  
・歯科保険の利く範囲を広げよう  
・窓口負担を軽減させよう  
・保険でより良く噛める入れ歯ができるようにしよう  
・新しい歯科治療技術を速やかに保険適用しよう  
・保険で良い治療ができるよう歯科診療報酬を引き上げよう

○旅費等 新幹線チケット・行動費5千円を支給  
行きの新幹線は全員同便になります  
※ご参加いただける先生には、詳細をご連絡いたします。

○申込締切 10月23日  
○問い合わせ TEL・06-6568-7731

## STOP！命奪う政治 オール近畿アクション

## 11・1 ご参加ください

## オール近畿アクション2025

11月1日(土) 15時～17時  
大阪・難波御堂筋ホールb2ホール  
申し込み TEL・06-6568-7731もしくはQRコードへ  
参加対象 会員・家族・スタッフ・患者  
※交通費2千円を支給します

集会スローガン  
○医療費年間4兆円削減・病床11万床削減の撤回を  
○医療費総枠を拡大し、患者負担を減らせ  
○STOP！薬の保険外し  
○従来の保険証を使い続けるようにしよう  
○保険でよい歯科医療を実現せよ  
○子ども医療の無償化を  
○生活保護基準の引き上げを



政府が進める医療改悪にストップをかけ、社会保障改善を求める「STOP！命を奪う政治オール近畿アクション」が11月1日、大阪で開かれる。主催は、保団連近畿ブロックなどがつくる実行委員会。特別企画では、佛教大学准教授の長友薫輝氏が「若い人と共に考える社会保障」をテーマに講演。「長友ゼミナール」と銘打ち、学生の質問に答える形式で社会保障を考える。そのほか、リレートーク、薬の保険外しの問題を伝える動画を上映。集会終了後は、御堂筋周辺で「命守れ」のスタンディング行動に取り組み。参加希望は協会、06・6568・7731まで。

## 歯界

「言葉は生き物」で時代と共に変化するが、全く逆の意味になると面食らう事がある。

例えば「やばい」という言葉を若い人は「凄い」や「素晴らしい」等肯定的な意味で使う。美味しい物を食べて「やばい」、楽しい経験をして「やばい」、驚いたり、想像を超える出来事に遭遇しても「やばい」。正直少し戸惑う。

また、今の若者の20％は「8時10分前」と言うのと「8時7～8分」の事だと思っているとか。この若者と私が8時10分前に待ち合わせをすれば、当然私は17～18分待たされる訳で、会った瞬間から険悪な雰囲気になりそう。

我々の世代も諺や慣用句を全く逆の意味と勘違いしている事はままあった。「役不足」と「情けは人の為ならず」は最も代表的なものであろう。ただ、日常的に使った言葉が全く逆の意味となると。世代間相互理解が必要だ!! (S)

# 大阪 保険医新聞

10/5

2025年第1535号

(毎月5、15、25日発行)

会 協 武 和 田 大阪府歯科保険医協会  
発 行 人 和 田 幸 町 2-2-20 4階  
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 2-2-20 4階  
電 話 (06) 6568-7731 (代表)  
http://osk-hok.org/  
● 定 価 年 間 10,000円 月 1,000円  
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

## 政策部による改定解説

## コロナ禍の受診抑制は解消されているか

同資料では、2024年度の歯科医療費の伸び率は+4.2%。受診延べ日数の伸び率は+1.0%。1日当たり医療費の伸び率が+3.2%と示された。2023年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類へと移行したが、コロナ禍の受診抑制は完全に解消

2026年度診療報酬改定に向け、議論が進んでいる。9月18日に開かれた第197回社会保障審議会医療保険部会では、厚労省保険局調査課が発表した「令和6年度歯科医療費(電算処理分)の動向」が資料として出された。こうした資料が改定に向けた参考にされるが、政策部の所見を紹介したい。

## 伸びは自然増の域を出ない

ともいえる。歯科医療費の伸び率+4.2%を持つて、歯科医療費が充足しているかのような議論にミズリードさせてはならない。

## 補綴からCAD/CAM冠へ

歯科医療費が年間3兆円を初めて超えたのは2019年度である。超過に伴う自然増の域を出ない

した背景には、歯科用金属材料の高騰がある。同資料で、歯科疾病分類別に前年度の医療費の割合が高かった傷病の歯科医療費の伸び率をみると、補綴関係が▲0.7%と

い限界を持っており、一気にすべてを解決するものではない。

歯科は医療費全体に占める割合が縮小

2019年度に歯科医療費は3兆円を超えたが、歯科医療費の医療費全体に占める割合はそれまでの7%台すら割り込み、6%台へと落ち込んでいる。1981年には歯科も保険で診てほしいとの国民要求から11%超まで戻した歯科医療費が、再び縮小している。

窓口負担免除が求められる被災地

同資料では、都道府県別の医療費で、石川県が

## 「緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める」歯科医師署名

こちらから署名に賛同いただけます

